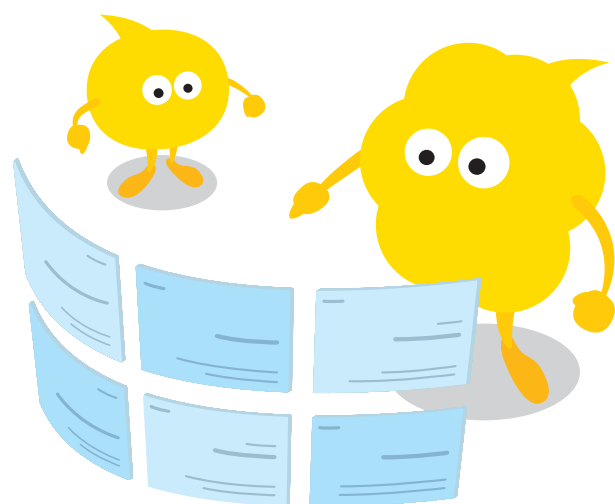


HELLO DEVELOPERS

よくわかる kintone カスタマイズ



Kintoneをぐっと便利に、もっと使いやすくするために、
自分たちでカスタマイズを行い、
機能を拡張する方法があります。

「パッケージ製品(プラグインや連携サービス)と
Kintoneカスタマイズは何が違うの?」

「Kintoneカスタマイズでどんなことができるの?」

「自分でもカスタマイズしたいけれど、落とし穴は無い?」

そんな疑問を解消し、Kintoneカスタマイズを行う前に
知っておくと良いことをご紹介します。

プラグインや連携サービス(パッケージ製品)と カスタマイズ(独自開発)の違い

プラグインや連携サービス (パッケージ製品)

複数のJavaScriptやCSSを1つのパック、
あるいはサービスとして適用できる追加プログラム。

用語解説

(アプリの)JavaScriptやCSSでカスタマイズ (独自開発)

JavaScriptやCSSを使用して、
アプリの動作や画面をカスタマイズできます。

※ 両方、スタンダードコースの契約が必要です。

プラグインや連携サービスでカスタマイズ (パッケージ製品利用)

JavaScriptやCSSでカスタマイズ (独自開発)

カツカレーにたとえると...



それぞれのメリット

プラグインでのカスタマイズは、
プログラミングなしで、
アプリをパワーアップできる



カタン、
すぐできる



オーダーメイド
できる

JavaScript/CSSでカスタマイズは、
細かい動作や見た目を
自分の環境に合わせることができる

機能を 拡張した時

センパイはこうやって選びました!

パッケージ製品を選択



カスタマイズの知識が無かったので、迷わずパッケージ製品を選びました。すぐにやりたかったことができて嬉しかったです!

パッケージ製品を選択



有償のパッケージ製品はサポート込みのものが多く、安心して使い続けられます。

カスタマイズを選択



自社にシステム部門があるので、機能を拡張したい場合は依頼してやってもらうことが多いです。

カスタマイズを選択

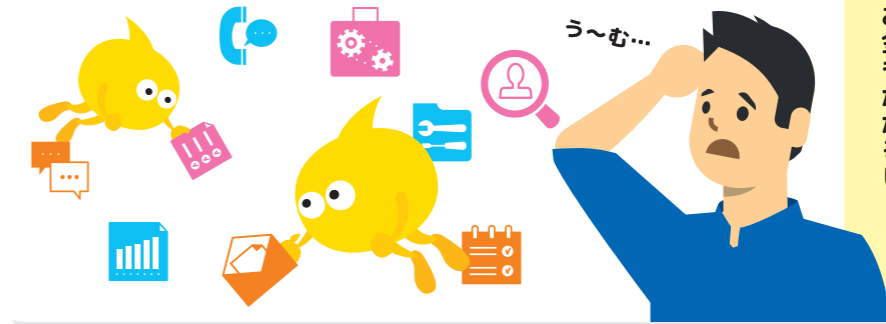


自社の要件にぴったりなパッケージ製品がなかったためパートナー企業に依頼して、実装してもらいました。

拡張を考えているけど、どちらがいいか...
迷ったら相談するのが◎

パッケージ製品を選ぶか、カスタマイズを選ぶか、判断に迷ったら、ぜひサイボウズや販売元のパートナーにご相談ください!

詳しくはP.037へ!



拡張機能はサービスが
たくさんあって
何を選んだらいいか
わからない...
お金もかかるし...



できんじゃね?

自分でJavaScriptが
書けるようになれば、
有料サービスを
契約しなくていいし、
お得かもしれない!

ちょっと待って!!!

その選択、
間違えると
大変なことに
なっちゃうよ!

属人化

エラー

メンテナンス

管理コスト

こりゃマズイ!

たくさんのサービスの
中から選ぶか、
自分で
カスタマイズをするか、
どちらにも
メリットがあるよ!
次ページで見てみよう!



ヨシッ!



プログラムが書けなくても大丈夫! ノーコードでらくらくkintoneカスタマイズができる連携サービス 「gusuku Customine」

より早く開発したい
情シスさんや、
Slerさんも必見!

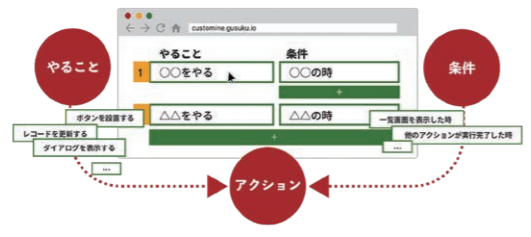


「プラグインで機能拡張できたけど、やっぱりJavaScriptが書ければもっとやりたいことが実現できるのになあ」と思っている方、朗報です! もうJavaScriptが書けるようになる必要はありません! 「gusuku Customine (カスタマイズ)」を使えば、画面でパーツを並べるだけで、JavaScriptファイルを自動生成できるので、プログラムを書くことなくkintoneをカスタマイズできるようになります。色をつけたり、郵便番号から住所を検索したり、何でもかんでもお手のものデス!

customineの基本操作と仕組み

- Step 1 カスタマイズしたいkintoneアプリと連携**
カスタマイズしたいkintoneアプリと連携して、カスタマイズの準備をしましょう。
- Step 2 「やること」と「条件」を組み合わせる**
「〇〇の時に」に「〇〇をやる」のような設定の組み合わせで、カスタマイズができちゃいます。
- Step 3 試行錯誤しながら最適解を探す**
kintoneで実際の動きを確認してみましょう。駄目だったらやり直し、何度でも試行錯誤することができます。

kintoneのカスタマイズをノーコードで実現!



ちょっと便利な機能がかたんに追加できる!

一覧画面内で検索できるように!

ポップアップ表示が可能に!

カスタマイズでできること

kintoneをJavaScript APIとREST APIを利用してカスタマイズするといったどんなことができるのか、その一例を難易度別にご紹介します!

フィールドの編集可/不可の切り替え

難易度 ★★☆☆

チェックされていないときに編集不可にする

「無効にする」が選択されたときに編集不可にする

フィールドの入力規則

難易度 ★★☆☆

「郵便番号」フィールドが7桁の半角数字でない場合、エラーを表示する

フィールドの条件書式

難易度 ★★☆☆

「ステータス」によって背景と文字色を変更する

緊急	依頼者	納期希望日	ステータス	依頼事項
急	佐藤 昇	2020-10-15	処理中	消耗品発注
急	加藤 美咲	2020-10-12	未着手	名刺発注
急	佐藤 昇	2020-10-16	未着手	電話移設・新設

レコードの自動採番

難易度 ★★☆☆

申請Noを [交通][作成日][レコード番号] というフォーマットで採番する

日付	訪問先	訪問内容	金額
2020-10-12	サイボウズ株式会社	電車 (往復)	350
2020-10-20	山田商事株式会社	タクシー	1200

手動計算でミス発生!? アプリ間連携で自動で在庫管理

難易度 ★★☆☆

売上数量

在庫数

データ同期で常に最新! ミスも無し!

レコード番号	商品名	単価	在庫	評価額
8	ウェットティッシュ	100円	760	76000
7	イヤホン	650円	150	97500
6	うちわ	120円	600	72000
5	付箋	80円	600	48000
4	シールB 50枚	500円	500	250000

サンプルコードは「cybozu developer network」にて公開中! P.036へGO!

提供会社の
アールスリーインスティテュート
金春さんより一言!

gusuku Customineを使えば、開発者じゃない方は開発者のように、開発者の方は100倍速く開発できます。画面のカスタマイズでも、バッチ処理でもkintoneの足りないところを補うgusuku Customineを楽しんでください。

改良できる点が良いですね。

私たちはgusuku Customineを使っています

kintoneの「gusuku Customine」を使わなかったら、完全にオーダーメイドになるので仕様決めだけでも半年ぐらいいはかかりますし、途中で内容を変えることもできません。開発費用もぐっと高くなるので当センターのシステム構築経費の中で完成させることは難しくかっと思えます。今回は希望している機能改善が予算の範囲で全部できましたし、これくらいだけでも



Q5

カスタマイズをすると、運用管理が大変になるからなるべくプラグインや連携サービスを使ったほうがいいと聞いたことがあります…本当ですか…？



難しい質問ですね… 1つの考え方としては、「やりたいカスタマイズの難易度」と「プラグインで実現可能か」で判断するものです。単純に「〇〇のときにエラーを出したい」等の簡単なものであれば、カスタマイズをしても良いと思っています。その方がコストもかからないです。一方、「〇〇のときは××して、△△のときは□□して、でも◎◎の場合は～～」といったカスタマイズになると、基本はプラグインや連携サービスを使った方が良いと思っています。社内にはできる人がいれば良いですが、その人がいなくなったら…というもあります^^; 後者の方はシンプルに「プラグインでは要件が満たせない。メンテナンスコストがかかっても良いから実現したい」のであれば、実装してもよいと思います。

A

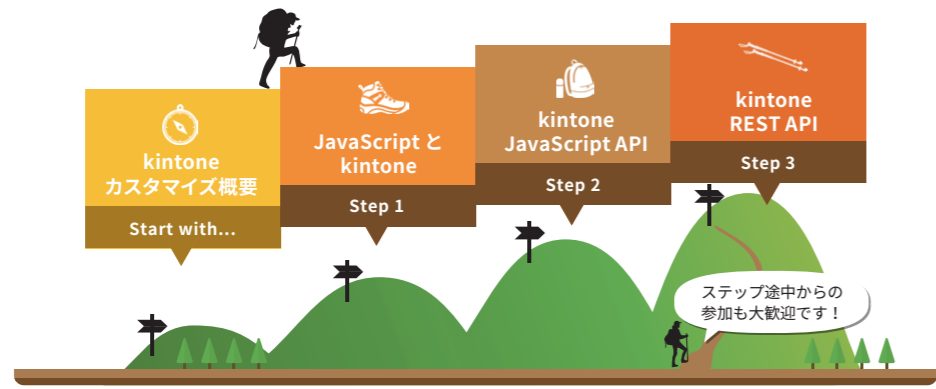
🔧 kintoneカスタマイズを学ぶには 🔧

1 自分で学ぶ場合 開発者向けの情報が得られる「cybozu developer network」にアクセス！



- 1から学べる
kintone customize tutorial
- ノウハウがわかる
Tips & Sample
- 無料で1年間利用できる
Developer license
- 便利に使える
API document・SDK
- 気軽に相談できる
Developer Community

2 一緒に学ぶ場合 kintoneカスタマイズを体系的に学べる「ステップで学ぶ kintoneカスタマイズ勉強会」を受講！



詳しくはWEBサイトで

kintoneの歩き方編集者のワンポイントアドバイス

カスタマイズにはある程度の開発知識が必要のほか、一定の管理コストが発生するので、必ずしもすべての人にカスタマイズをおすすめするわけではありません。メリットとデメリットをしっかりとふまえて、カスタマイズができると良いでしょう。また、カスタマイズを実施した人がたとえいなくなっても、何を解決するためにカスタマイズを行なったのか(要件)を把握できるようにしたり、運用が止まらない管理を心がけましょう。

kintoneカスタマイズを
実施する前に読みたい

気がかり

Q & A

Q1 開発経験がなく、何も知らない状態からやってみるのは難しいですか？

A 正直にいうと難しいと思います。kintoneカスタマイズにはJavaScriptの知識が必要なので、開発知識や経験がある程度は必要です。ただし、JavaScript自体は初学者でも学びやすい言語のため、前ページ(P.33)の難易度1程度の内容であれば短い期間でも実装できるようになります。

Q3 やりたいことが基本機能でできるのか、連携サービスやカスタマイズでできるのか判断できません…

A まずはサポートに基本機能でできるかを、ぜひお問い合わせください。基本機能ではできないことが分かり、カスタマイズや連携サービスの利用を具体的に検討している場合は導入相談カフェのお申し込みやパートナーへのご相談をオススメします。

詳しくはP.037へ！

カスタマイズをしたいけれど、どうやって学べるのか、また落とし穴はないのか、気がかりを解消していきましょう。



Q2

機能拡張に連携サービスやプラグインを使う方法もありますが、カスタマイズとどちらが良いですか？

A 連携サービスやプラグインは手軽に使えるのでまず始めるにはオススメです。ただし、会社独自のルールなどに対応しきれない部分もあるので、その場合はカスタマイズを行うといいでしょう。

kintoneカスタマイズを学ぶ場はありますか？また、その場に参加すれば、前ページのことが全てできるようになりますか？

A カスタマイズを学ぶ場として、「kintoneカスタマイズ勉強会」を通年で開催予定です。残念ながらすぐにカスタマイズができるようになるわけではありませんが、ベースの知識をつけるという意味ではおすすめの勉強会です。また、勉強会では「カスタマイズをするための道具を手に入れる」ことができますが、その道具をどう活用していくかはその後の学習が非常に大事になっていきます。

カスタマイズで広がるkintoneの無限の世界。勉強会もあるので、興味がある方のご参加をお待ちしています！

解説してくれたのは、Teruさん！



サイボウズ株式会社
システムコンサルティング本部
kintoneカスタマイズ勉強会講師

